

令和元年度 久勝保育所 自己点検・自己評価について

令和2年3月

評価の基準 A・・・よく達成できている B・・・達成できているが課題もある C・・・改善が必要

◎ 教育・保育の計画の編成と実施に関する評価

| 項目 | 内容 | 評価 | 改善を要する意見及び改善策 |
|-------------|---|----|--|
| 保育目標について | (1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。 | A | 乳幼児期の特性や保護者や地域の実態を踏まえ環境をよりよくすることが大切であると考え る。 職員間の話し合いの場をもっと多く持つことが大切である。 |
| | (2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。 | A | |
| | (3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。 | B | |
| | (4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。 | B | |
| | (5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。 | B | |
| 教育・保育内容について | (1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。 | A | 保育計画に基づいて保育し、保育の質の向上を図る。 登降園では、職員が元気よく笑顔で接し明るい対応を心がけるようにしている。 月に一度の給食検討会において他2園との意見交換をしている。 連絡帳は、毎日チェックし、記入するようにしている。 個人懇談も保護者の都合のよい日程でできるようにしてすべての保護者を行っている。 朝夕の体温チェックを行い、子どもの異変に瞬時に気づき対応できるように看護師にもすぐに連絡がつくようにしている。 |
| | (2) 保育所保育指針に基づく指導援助を適切に行っているか。 | B | |
| | (3) 環境構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。 | A | |
| | (4) 素材・用具を適切に活用しているか。 | B | |
| | (5) 登園・降園時にこやかに対応しているか。 | A | |
| | (6) 連絡帳・連絡ノート、個人懇談の活用が十分できているか。 | A | |
| | (7) 給食、おやつなどのメニューに偏りはないか。 | B | |
| | (8) 食育計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。 | B | |
| | (9) 乳幼児の健康管理を適切に行っているか。 | A | |
| | (10) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。 | B | |
| 保健・安全指導 | (1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。 | A | 避難訓練・安全指導においては、外部指導を取り入れ子どもと共に職員も真剣に取り組んでいる。 家庭にはお知らせボードや保健だより等を利用して感染症などの手紙を配布し健康や安全の啓発を行っている。 |
| | (2) 避難訓練・安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。 | A | |
| | (3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。 | A | |
| | (4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。 | A | |
| 日時程 | (1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか | A | 年齢に応じて作成されているが、場合によって変更の場合もある。 |
| 行事について | (1) 行事の種類や実施回数は適切か。 | A | 行事前には職員間での話し合いを持ち、記録を残して次回へつなげるようにしている。 保護者の意見や思いには全てにおいて取り入れることは難しいが、常に耳を傾け、保護者が伝えやすい環境をつくるのが大切であると考え る。 |
| | (2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。 | A | |
| | (3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。 | B | |
| | (4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。 | B | |
| | (5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。 | B | |

◎教育・保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

| 項目 | 内容 | 評価 | 改善を要する意見及び改善策 | | |
|-------------------------|----------------------------------|--|--|--|--|
| 経営・組織 | 分掌・体制 | (1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。 | B | 経験年数を考慮し、配置された複数担任の中で意見を出し合いクラス内の問題点や配慮を要する子どもの関わり方や指導を積極的に行いながら保育を進めるようにしている。目標を定めて成長に繋がっていく保育が必要とされている。園内で分担されている係に職員がそれぞれ自覚と責任を持ち計画的に進めている。毎日の連絡事項は必ず行い、職員会議は定期的に関きさまざまな意見を出し合いながら話し合いをしている。全員が周知できるよう必ず伝言して共通理解を図っている。 | |
| | | (2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。 | A | | |
| | | (3) 職員の配置は適材・適所か。 | B | | |
| | | (4) 係りや仕事の分担・割り当ては適切か。 | A | | |
| | 運営 | (1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。 | B | | |
| | | (2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。 | B | | |
| | | (3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。 | A | | |
| | 年齢別・クラス経営 | (1) 年齢別・クラス目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか | B | | 指導計画に基づき目標や援助を設定し取り組んでいるが、クラスの子どもの状態に合わせた保育とその年齢に応じた成長を目標と保育を進めていく必要がある。 問題点として取り上げられている内容にさまざまな角度から見直していくことが求められる。 |
| | | (2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。 | B | | |
| | | (3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。 | B | | |
| | | (4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。 | B | | |
| | | (5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。 | B | | |
| (6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。 | | B | | | |
| 研究・研修 | 園内研修 | (1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。 | B | 月1回少人数グループでの園内研修を行い各グループ各グループリーダーがテーマを決め準備した資料から意見を出し合ったり保育中での問題点や疑問点を発見しながら話し合いを進めている。 | |
| | | (2) 園内研修の計画・運営は適切か。 | B | | |
| | | (3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。 | B | | |
| | | (4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。 | B | | |
| | 園外研修 | (1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。 | A | | 積極的に研修に参加しレポートにまとめて自己研鑽に励んでいる。全職員が目を通し、学べるように所定の位置へ置いている。 |
| | | (2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。 | B | | |
| 情報について | (1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。 | A | 個人情報保護については職員及び保護者に機会ごとに随時周知している。 公文書收受、発送等は適正に処理している。 | | |
| | (2) 公文書收受、発送、処理を適正に行っているか。 | A | | | |
| | (3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。 | A | | | |
| 施設・設備 | (1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。 | A | 園内外設置の設備点検は月1回職員が行っている。不審者対応として玄関の施錠を徹底し園舎南北にある柵も施錠し暗証番号を設置している。防犯カメラを有効に使う対策をとっている。 | | |
| | (2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。 | A | | | |
| | (3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。 | B | | | |
| | (4) 掲示板、掲示場所等を適切、且つ、効果的に活用しているか。 | A | | | |
| 出納経理 | (1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。 | A | 適正に処理している。 | | |

◎地域の中の就学前教育施設に関する評価

| 項目 | 内容 | 評価 | 改善を要する意見及び改善策 | |
|---|---|---|---------------|--|
| 開 か れ た 認 定 こ ど も 園 づ く り | 施設 間 交 流 ・ 連 携 | (1) 小学校等との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に添ったものになっているか。 | B | 今後、小学校との交流を深めていく中で行事への参加を積極的に進めていきたい。また就学前の5歳児においては専門機関に通っている子どもを対象に支援方法について指導を受けながら小学校コーディネーターの職員との連携を密に進めていく必要がある。就学時に向けてのさまざまな書類の作成や連携など勉強していかなければならない。 |
| | | (2) 小学校等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。 | B | |
| | | (3) 保育教諭同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。 | B | |
| | | (4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。 | C | |
| | | (5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動にいかしているか。 | B | |
| | 家 庭 ・ 地 域 と の 連 携 | (1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。 | B | 今後、公開保育、自由参観を検討していきたい。 地域の方が畑を解放して下さるので作物の生育を体験することができる。 収穫を通して食育につながっていくよう指導するようにしている。 |
| | | (2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。 | B | |
| | | (3) 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。 | B | |
| | | (4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。 | B | |
| | 子 育 て 支 援 の 推 進 | (1) 地域の子育てセンターとして、園庭やリズム室、子育て支援室等を開放しているか。 | B | 子育て支援室の活動を計画していきたい。 発達支援センターきりんや児童発達支援事業所どんぐり、市の保健師、専門職員による巡回訪問など専門機関と連携をとりながら指導方法と問題点について相談しながら指導へと繋げている。 |
| | | (2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことのできるような場の設定を行っているか。 | B | |
| | | (3) 地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っているか。 | B | |
| | | (3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。 | C | |
| | | (4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。 | B | |
| | 情 報 の 発 信 | (1) 園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。 | C | 園だよりを毎月発行し、子ども達の状況を伝えるようにしている。また、月1回各クラスの日頃の様子を知らせるために子ども達の自然な姿の写真を掲示している。 |
| | | (2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。 | B | |
| | 外 部 評 価 | (1) 第三者評価や学校評議会等を導入し、園運営に反映しているか。 | B | 地域活動の提案に園児たちが参加し交流している。 |
| | | (2) 地域や保護者の意見を園運営に反映しているか。 | B | |